

朝日小学生新聞

朝日中高生新聞

休校中の学習・生活について保護者にアンケート 最も望むのは「双方向オンライン授業」 実現した学校は1割未満、塾は3割強

「朝日小学生新聞」「朝日中高生新聞」を発行する朝日学生新聞社は、新型コロナウイルス感染防止に伴う学校の休校について、小学生の保護者と、中高生の保護者または本人に、4月末～5月上旬にアンケートを実施しました。回答者は主に、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞を購読中または過去に購読していた人で、有効回答数は小学生1018、中高生176です。[藤川大祐さん](#)(千葉大学教育学部副学部長、千葉大学教育学部附属中学校校長)からコメントをいただきました。

【主なピックアップ】

- ・休校中の学習形態として最も望んでいるのは「教師との双方向オンライン授業」だが、調査時点では、実現していた学校は1割に満たない。塾では3割強が実現していた。
- ・休校中も学校や塾から課題は出されているが、半数の児童生徒は自主的な学習にも取り組んでいる。3割は無料の参考書や動画も使っている。
- ・学習の遅れよりも「友だちと会えないこと」「運動不足」を心配している傾向がある。
- ・[自由回答](#)からは、オンライン授業の未整備、学校再開の見通しに対し、保護者の強い困惑がうかがえる。いっぽうで、自分のペースで学習ができるようになった、興味のある学びを深める機会になった、家族のコミュニケーションが増えた、など、休校を良い機会ととらえている意見もみられる。

【アンケート概要】

実施期間と方法:2020年4月30日～5月6日、インターネットでのウェブアンケート

有効回答数:小学生の保護者1018、中学生・高校生の保護者または本人176(本人41)

回答者の居住地:小学生 首都圏(埼玉・千葉・東京・神奈川)60.4%、

関西圏(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)13.6%

中高生 首都圏(同)52.3%、関西圏(同)13.1%

回答者の学年:小学生 5,6年生が49.8% 3,4年生が34.5% 1,2年生が13.3% 不明2.4%

回答者の56.5%が私立・国立・公立の中学受験を予定している

中高生 データ不備により計測不能

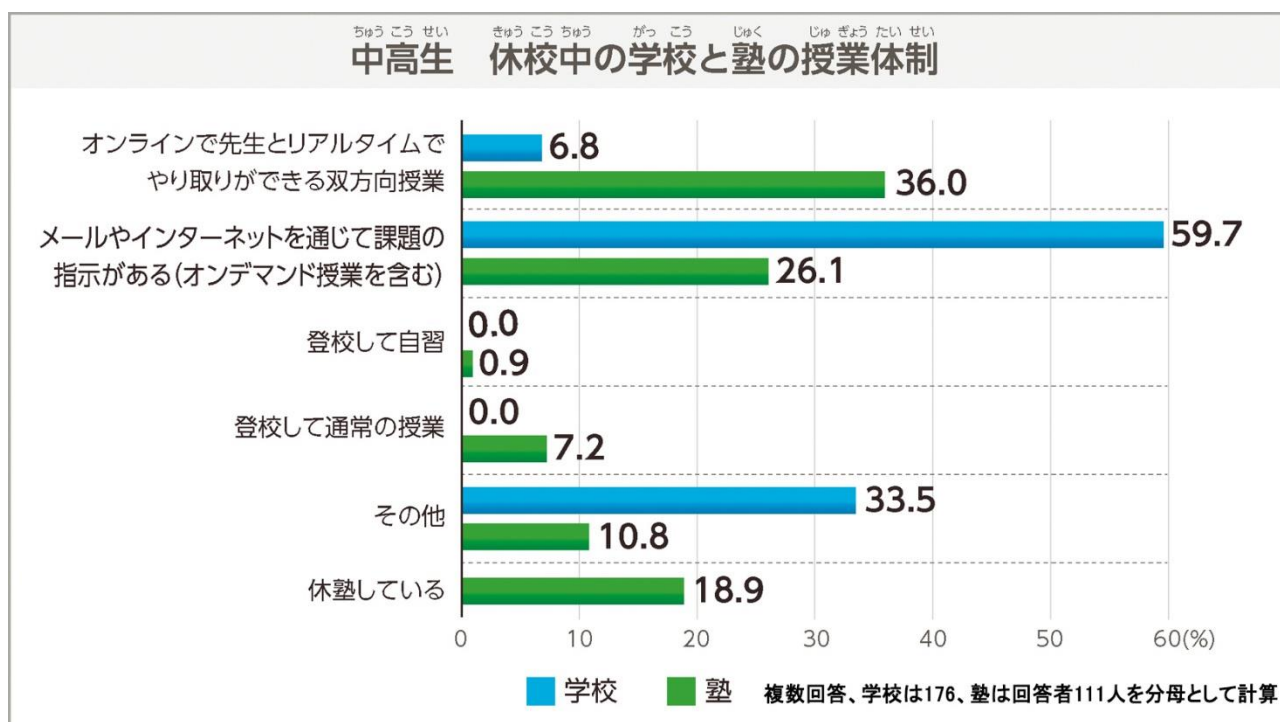
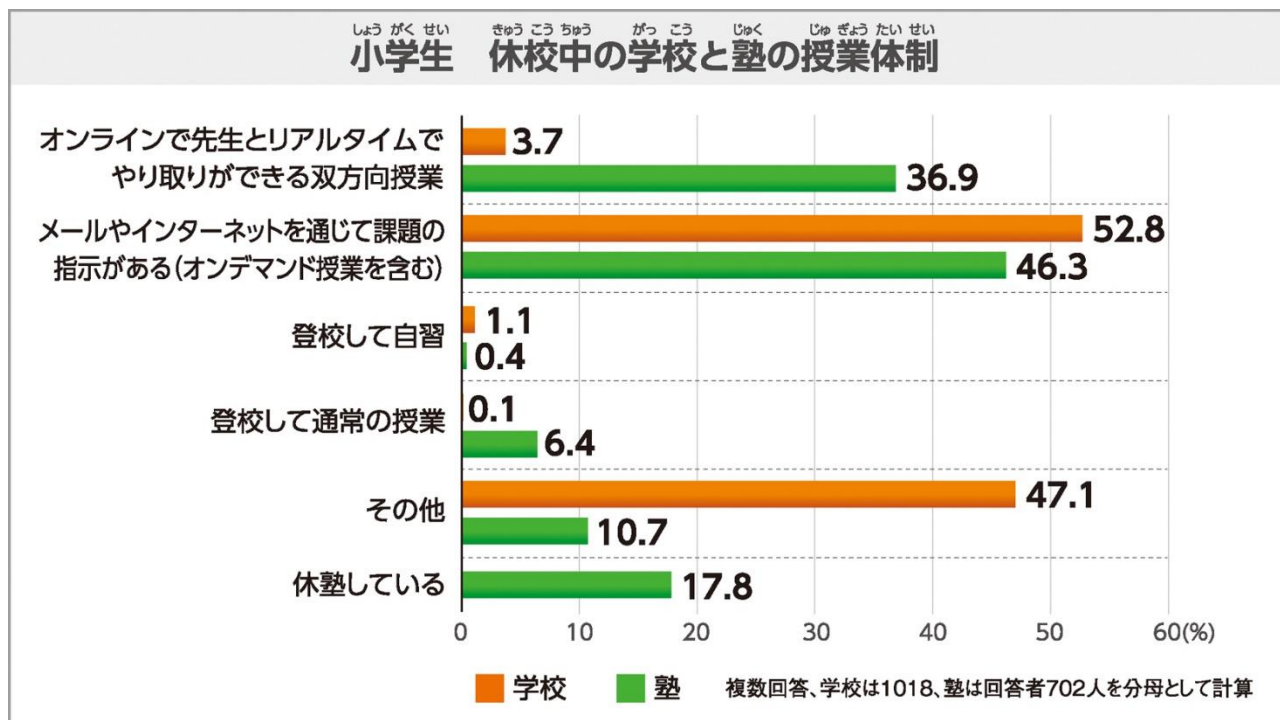
調査時点での休校期間:9割以上が3月から休校状態

【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

1 休校中、学校や塾でどのような授業体制をとっているか

小学生、中高生ともに、「オンライン授業で双方向授業が実現している」と回答した人は、塾では3割を超えているものの、学校では1割未満にとどまっている。学校から「メールやインターネットで課題の指示がある」ケースは5割を超えているが、小学生は「その他」も5割近くおり、自由回答からは「登校日にプリントが配られる」「郵便で課題が届く」「ほとんど指示がないに等しい」という状態が推察される。

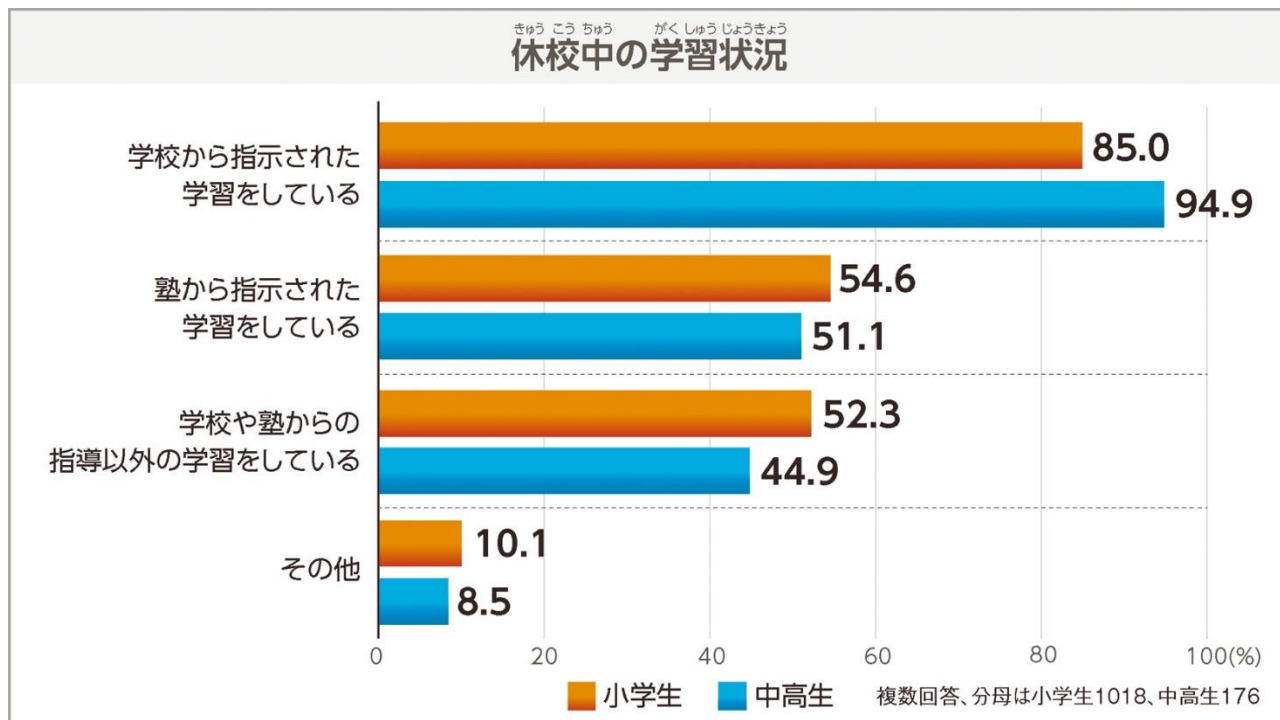


【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
 home@asagaku.co.jp

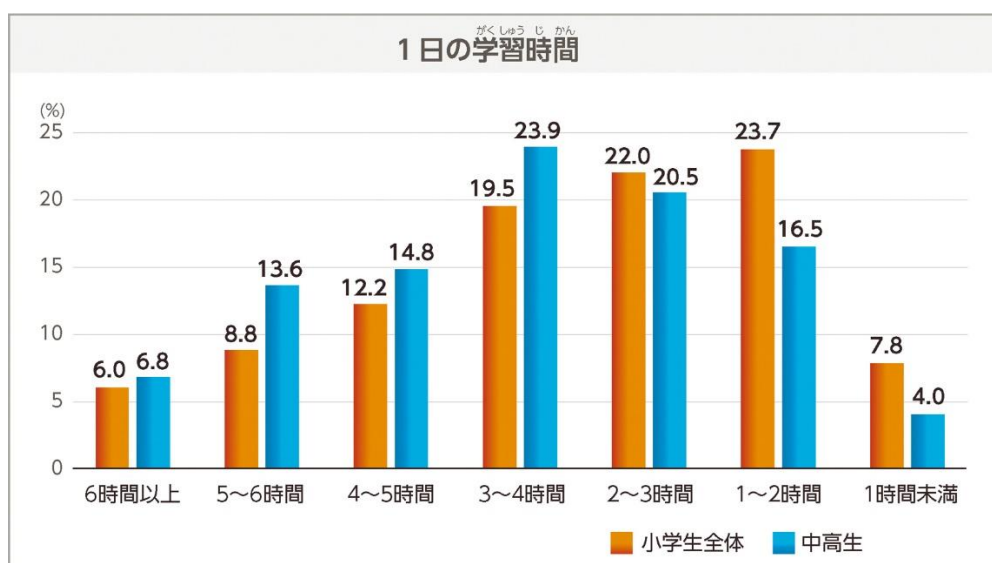
2 休校中の学習状況

休校中、学校から指示された学習をしている人は小学生で85.0%、中高生で94.9%にのぼるが、学校や塾以外の学習をしている人も小学生52.3%、中高生で44.9%いる。休塾の影響もあるかもしれないが、半数は自主的な学習に取り組んでいることがうかがえる。



3 1日の学習時間

1日の学習時間(平日の場合)は、小学生でもっとも多いのは「1～2時間」23.7%、「2～3時間」22.0%で、ほぼ半数が3時間以内となっている。中高生でもっとも多いのは「3～4時間」で23.9%。登校して授業を受けているときに比べ、学習に費やす時間は少ない傾向にあることがうかがえる。

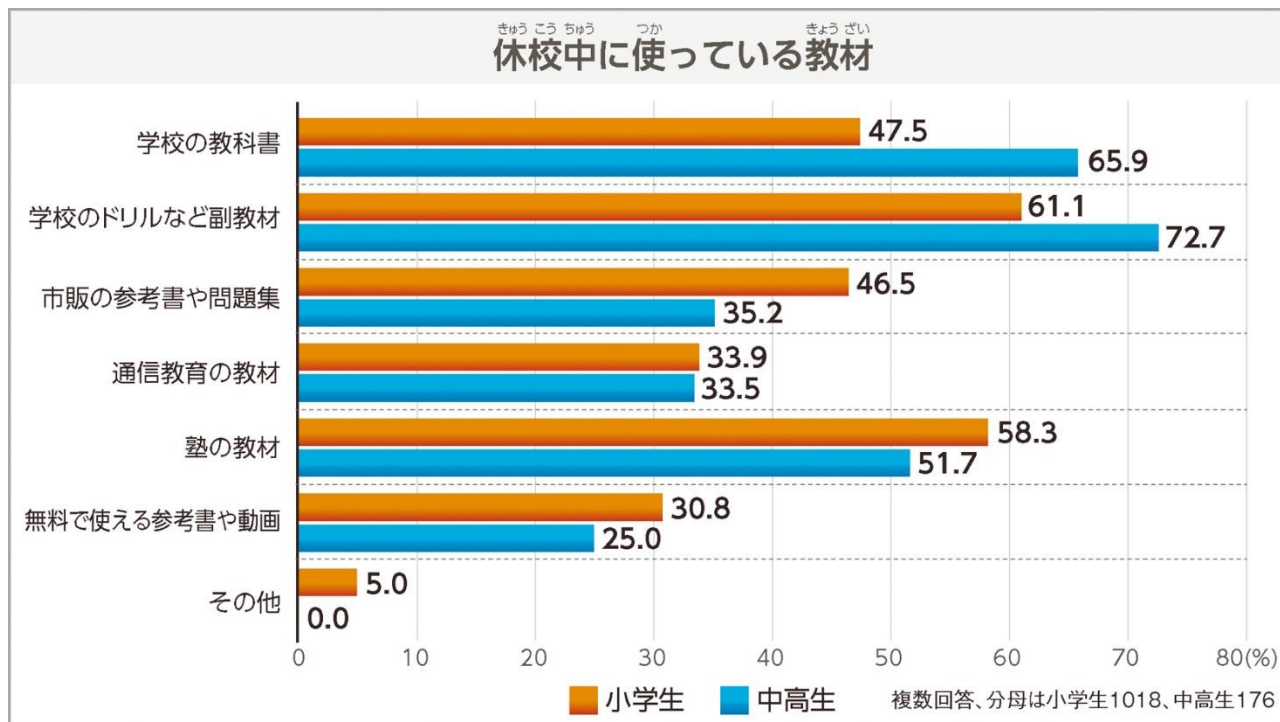


【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

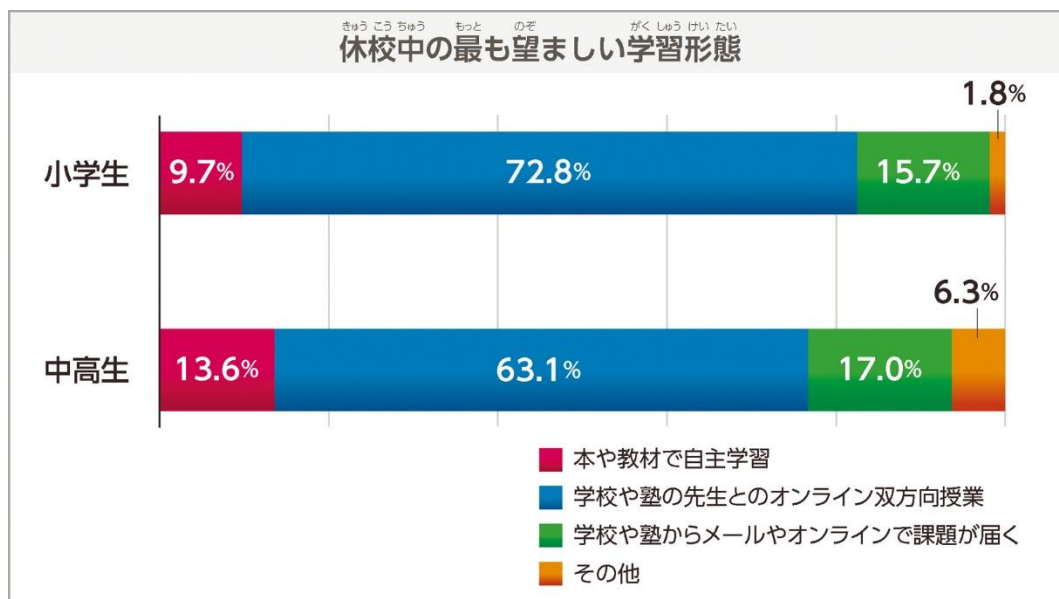
4 休校中に使っている教材

市販の参考書や問題集を使っている小学生が5割近くいる。小学生の回答者は中学受験を予定している人が6割近いせいかもしれない。休校後、多くの自治体や企業が無料の参考書や動画を公開しており、小学生では3割、中高生でも25%が利用している。



5 休校中の最も望ましい学習形態

休校中、もっとも望ましい学習形態として、「オンラインでの双方向授業」と回答している人が小学生は7割、中高生は6割に及んでいる。

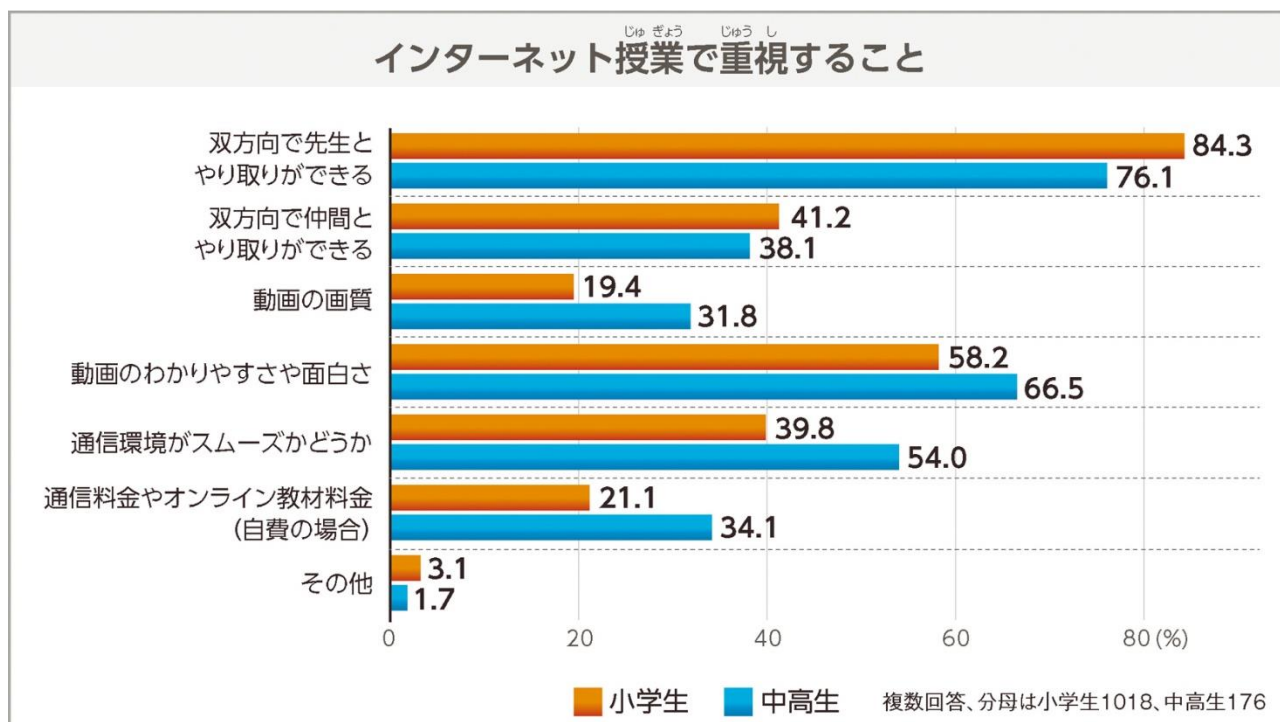


【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

6 インターネット授業で重視すること

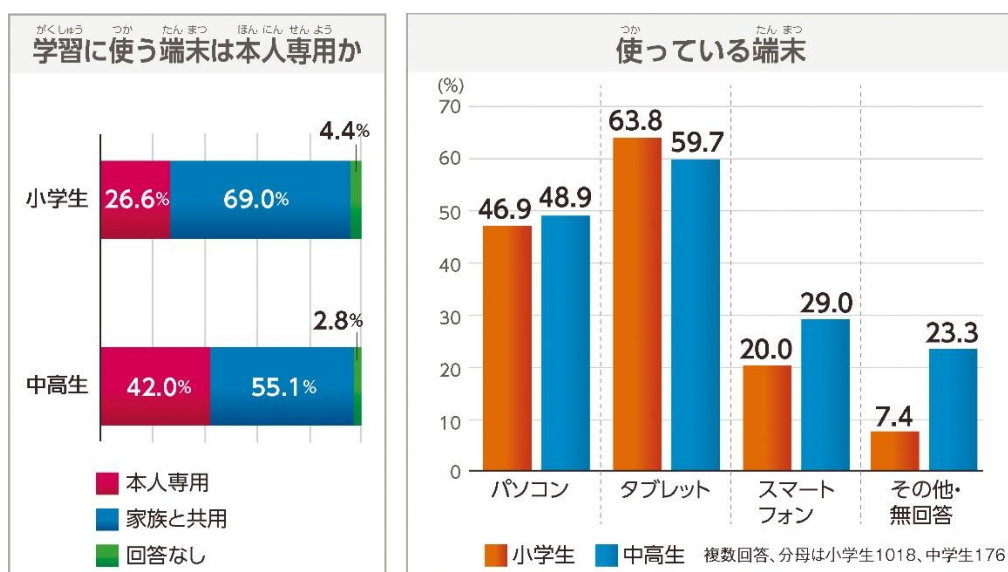
インターネット授業で重視することは、「双方向で先生とやり取りができること」という回答が最も多い。「動画のわかりやすさや面白さ」も中高生では66.5%にのぼっている。



7 学習に使う端末について

端末は小学生の7割、中高生でも55%が家族と共用と回答している。自由回答では「きょうだいがいるので、同時にオンライン授業があった場合に1人1人の環境を用意するのが大変」という回答が複数みられた。

使用している端末は6割がタブレット、5割弱がパソコン。スマートフォンはもっとも少ないが、中高生では3割に達している。



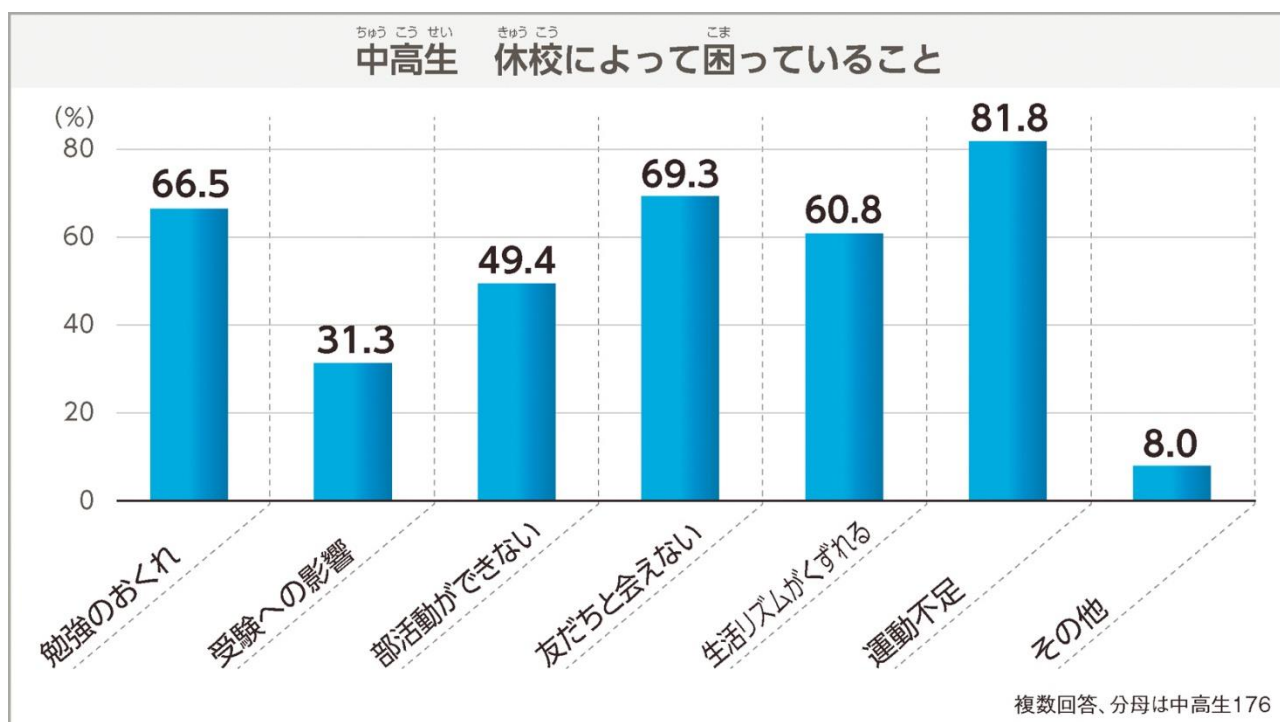
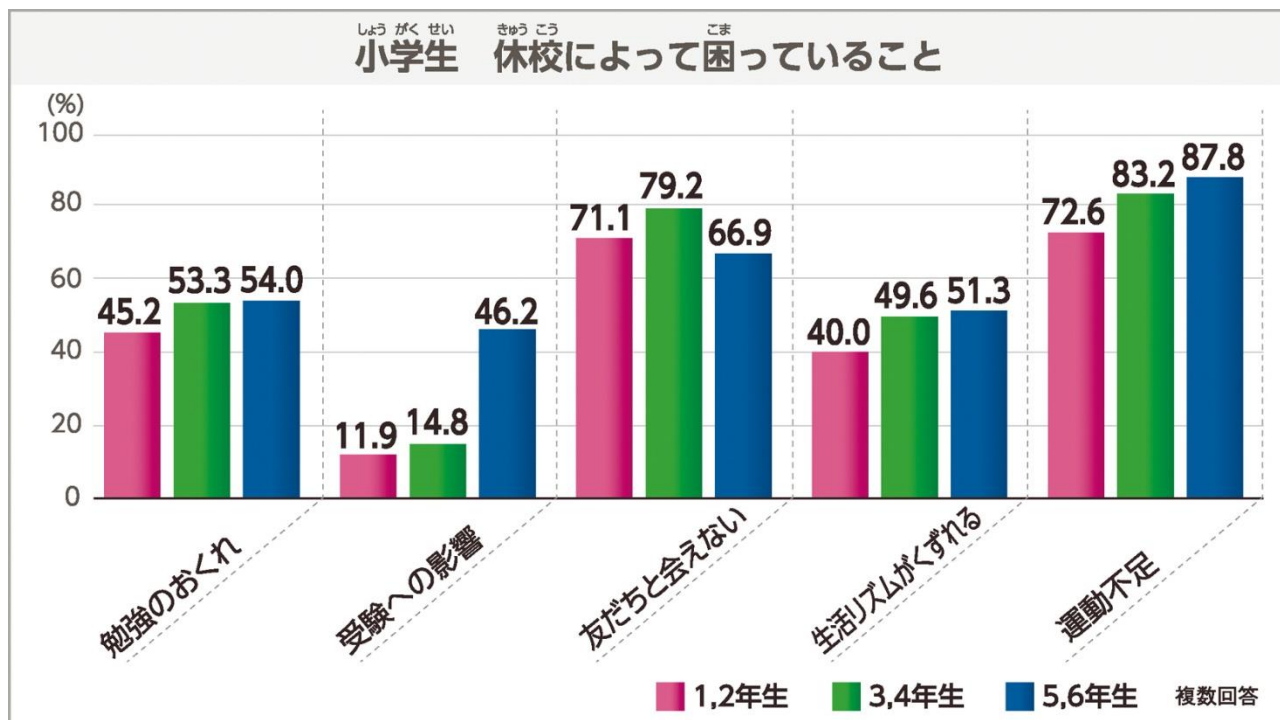
【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

8 休校によって困っていること

小学生の場合、保護者は勉強の遅れよりも、「友だちと会えないこと」「運動不足」を心配している傾向がうかがえる。

中高生は、小学生に比べ勉強の遅れを気にしているものの、やはり「友だちと会えないこと」「運動不足」の割合が高い割合を示している。

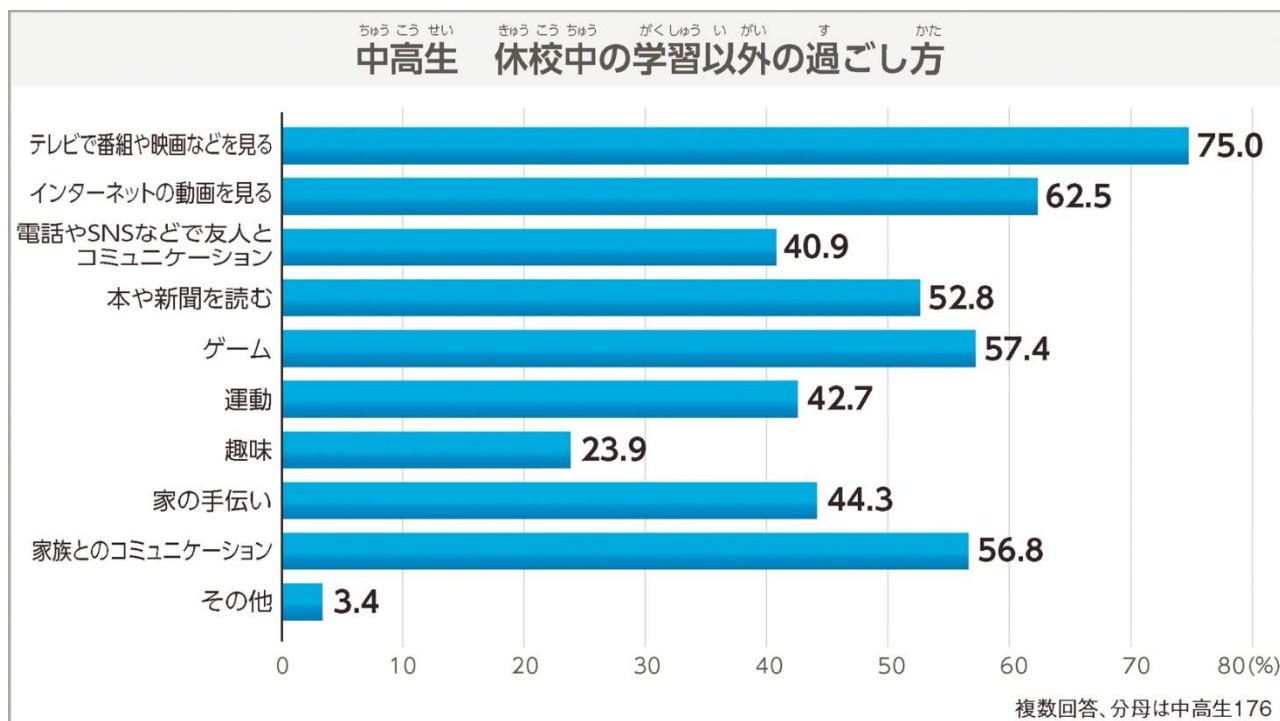
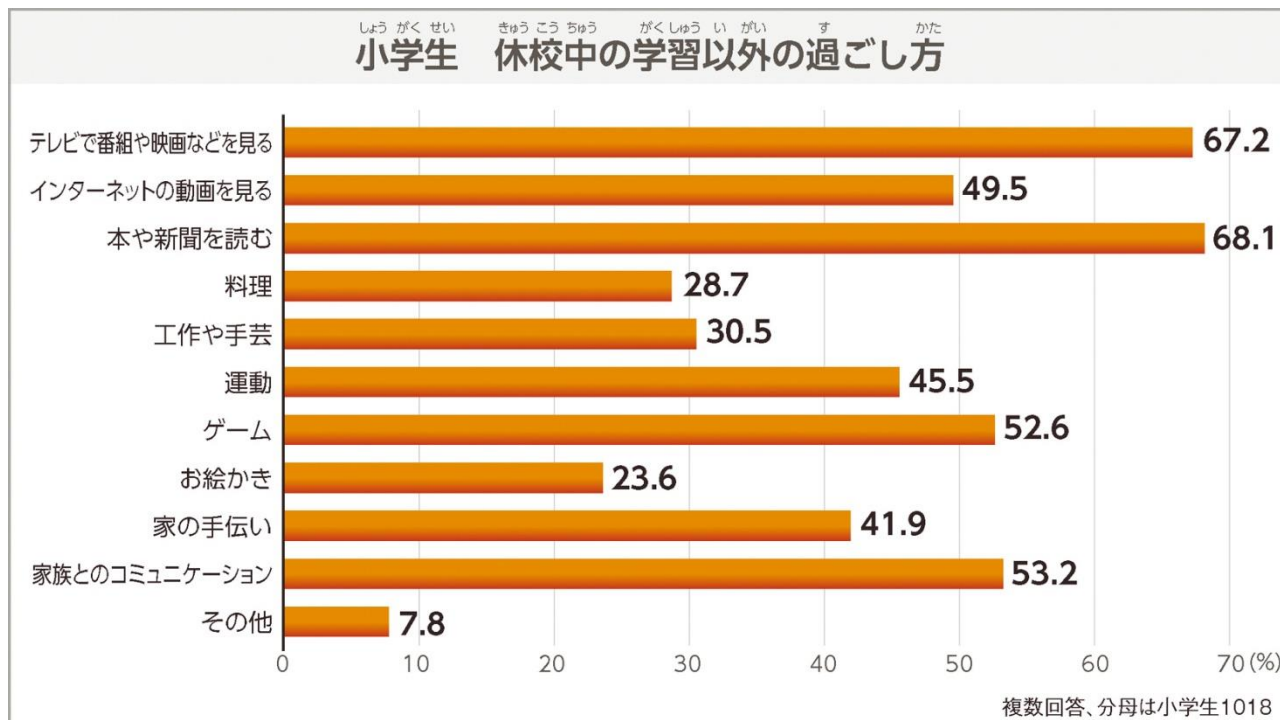


【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

9 休校中の学習以外の過ごし方

小学生、中高生ともに、テレビや動画の視聴が多いが、家の手伝いが4割、家族とのコミュニケーションが5割以上など、家族と関わって過ごす時間も多いことがうかがえる。



【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
 home@asagaku.co.jp



藤川大祐さん(千葉大学教育学部副学部長、同大教育学部附属中学校校長)の話

アンケートからは、保護者のみなさんがオンラインの双方向授業を望んでいて、課題を出されるだけの形式は大変だと思っていることがわかりました。インターネットでの双方向授業は、通信回線などの環境が整っていない今は、授業すべてで導入するのは難しいと思います。学級活動や一部の授業のみ双方向にして、あとは動画やプリントなどの課題と組み合わせてやっていくことになるでしょう。

多くの子どもは、学習に使うための専用端末を持っていないことがわかりました。親も在宅勤務だと、端末を用意するのが難しい。端末を貸与する仕組みが必要になってくると思います。

勉強の遅れ以上に、友だちと会えないことなど、保護者は子どもの心身を心配している傾向がわかり、安心しました。私も今回の休校では、勉強より心身の健康が優先だと言い続けています。親子で散歩や体操をする、体をつかうゲームをするなど、感染に気をつけて運動することは家庭で工夫できると思います。

親は教師の代わりになろうとしなくていいのです。学校が再開すれば、学校側は勉強の遅れを取り戻すように努力します。休校は貴重な時間ととらえ、好きなことを追求したり、ウイルスのこと、経済のこと、フェイクニュースって何？など今だからこそのテーマを調べたりするのも良いでしょう。

学校が再開しても、感染防止のために物理的距離を取らなくてはならないので、友だちとくっついたり、グループで話し合ったりすることは難しいでしょう。「空気をよむ」ことで友だち関係をつくったり、なんとなく授業に参加したりすることができにくくなります。自分自身で考え、意見や質問を言葉や文章でじょうずに伝えることが必要な時代になるでしょう。

自由回答 ＊読みやすいよう、1回答おきに文字の色を変えています

休校について、小学生保護者の自由回答

■休校中の学習、特にオンライン授業についての不安や要望

- ・オンライン授業でも、課題を出されるにしても、共働き家庭ではフォロー不可能。(東京・1年)
- ・オンラインを始めている地域もある一方、当地はプリントのみで、地域差へのあせりがある。(神奈川・5年)
- ・保護者が仕事をしていると帰宅後にしか勉強を教えることができないので、18時以降くらいから、もしくは土日祝でのオンライン授業があればうれしい。(和歌山・1年)
- ・オンライン授業までは望まないが(できればやってほしいが)、週に一度くらいはウェブ会議システムなどを使って、担任の先生やクラスメートとかかわりを持てると良いと思う。(福岡・3年)
- ・課題に取り組む前、モチベーションを上げるためにやる教材的なものがあるとうれしい。(神奈川・4年)
- ・子どもが3人いるので、オンライン授業の時間が重なると3人分の環境を整えるのが大変。(東京・6年)
- ・オンラインは目の疲れなどが心配。紙の教材と並行して、短い時間でのオンライン授業であればありがたい。(福岡・4年)
- ・県の動画や各教材の無料のお試しはすばらしいが、カリキュラムが特にないので体系的に学べません。費用はかかりますが通信教育と塾を契約しました。(神奈川・6年)
- ・学校から案内されるのは市全体の動画だが、子どもが見知った先生の動画のほうがやる気が出ると思うので、各学校で制作してもらえないだろうか。(大阪・3年)
- ・国語の読解などでは他の子の意見を聞くことができず、思考する機会が減っているように思います。(愛知・2年)
- ・これからの時代はプレゼン力が求められるのに、発言する機会がないため、休校の長期化の影響が出ないか心配。(福岡・5年)
- ・親が仕事で不在の間、子どもだけでパソコンを操作し塾のオンライン授業を見ることがある。そのすきに全く違うサイトにアクセスしてしまうのではないかとハラハラしてしまう。(千葉・4年)

■家庭での学習の悩み

- ・ただただドリルを解いたり、漢字を書いたりしているだけでは、実力がついておらず、自宅学習の難しさを感じている。(長野・4年)
- ・親としては、算数は課題が出しやすい答え合わせも負担にならないが、国語は解説に時間が取られ、親の解説も合っているか不安。(東京・2年)
- ・学習時間が圧倒的に少なくなって、自宅学習への限界を感じている。(東京・3年)
- ・わからないことや疑問があってもスルーしていることもあり、改めて対面授業の大切さを感じている。(千葉・4年)
- ・休校中にも課題や動画がどんどん送られてくる。これを全てこなさないと新学期に遅れを取るのか非常に不安になる。異常事態の今、気分転換で外遊びも出来ない子どもに負担を掛けないでほしい。(東京・5年)

■学校再開に向けての悩みや要望

- ・学校が再開して6時間授業を集中して受けることができるのか、詰め込み授業にならないか、心配。(福岡・3年)

【お問い合わせ先】 朝日学生新聞社 経営管理部 広報チーム

〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5222
home@asagaku.co.jp

- ・登校日に漢字と算数のミニテストを受けたようだが、テスト評価は今はやめていただきたい。今は、学んでいるか、理解できているかの把握とフォローで十分ではないか。教育が通常に戻るまで、通知表はつけない方針にしていたほしい。(岡山・5年)
- ・最高学年で体験するはずだった行事を経験できず小学校生活が終わるのは残念なので、9月スタートに仕切り直していただきたい。(東京・6年)
- ・9月にコロナが収束しているとは思えない。9月入学よりは、今年度は学校に行けない前提でまずはオンラインの環境を整えるべき。(東京・6年)
- ・今後学校の土曜授業が始まるのかもしれないが、習い事に支障があるので、それはやめてほしい。(埼玉・5年)

■コミュニケーションの機会が減ったことについて

- ・自宅学習だとまったく緊張感がなく持続性に欠けるので、早く学校という集団の中で切磋琢磨しながら成長を遂げてほしいと願っています。(東京・4年)
- ・家族以外と交流できない中、慣れ親しんだ塾の先生とのウェブ双方向授業は、学習面のみならず、本人の精神的な支えになるようで、授業の後は少し元気になります。学校でもこういう環境が整うといいなと思います。(愛知・4年)
- ・友だちと会えず退屈で、体を動かせないフラストレーションで、親に構ってほしがる。(東京・4年)
- ・メールでもいいので先生から子どもあてに手紙が届くと嬉しいです。(岐阜・5年)
- ・学校へ期待することは、オンライン授業を進めることではなく、1日に一度でもオンライン上でお友だちや先生と会話ができる時間を持つようになること。(東京・4年)
- ・授業だけでなく、楽しい会話・実践できる体操等が、心の成長段階の子どもたちには必要であると休校と外出自粛の中から感じました。コロナの感染も怖いですが、子どもたちの心が壊れていくこともまた怖いです。(長崎・5年)
- ・親の言うことには耳を貸さなくても、先生がおっしゃることは素直に受け入れる面があるので、学校や塾といった親以外の大人との接触の場がなくなったことで、親だけで子どもを育てあげることの難しさを感じています。(東京・4年)

■運動不足、生活リズムが崩れることの不安

- ・公園は常に混雑していて、遊びに出せない。1時間ほど遊んだら、あとから来た子に譲るようにしてほしい。(大阪・6年)
- ・運動不足により寝つきが悪く、結果として生活リズムが崩れる。(東京・4年)
- ・学校が再開しても、体力的に通えるのか不安。(三重・6年)
- ・マンションの下の階の人から子どもの足音がうるさいとクレームが入ったり、公園につれて行くと近所の人から学校にクレームが入ったり、行き場所がなく、本当につらい。(北海道・1年)
- ・運動不足だが、ストレスのせいか休校前よりよく食べ、一気に太った。(神奈川・5年)
- ・ゲームに頼る生活になり、ゲームの中で待ち合わせをすることが子どもの日常になりつつある。言葉遣いも乱暴になり、親がゲームを制限しても精神的に落ち着かなくなったり、仲間に入れない疎外感を感じたりしています。オンラインゲームへの年齢制限を守るなど、学校からも指導してほしいと切に願います。(兵庫・6年)

■ 中学受験への不安

- ・いま、子どもの成績はどのあたりの立ち位置にいるのか、指針となるものがないので心配です。(東京・4年)
- ・学校も塾もまったく様子を聞いてこない。子どもは完全にやる気も集中力も失っている。(群馬・6年)
- ・受験をするつもりで勉強しているのに学校で習っていないまま受験を迎えたらどうしよう、と本人は不安の様子。小6で習う範囲が過去問に出たら解けないからと、教科書を広げてやっている。(滋賀・6年)
- ・受験にあたり、予定していた学校見学や文化祭に行けず、学校選択に遅れが生じてしまい、焦りを感じる。(東京・4年)

■ 休校中の工夫

- ・なるべく自学できるように辞書の引き方を教えたので、わからない単語は自主的に調べてくれるようになった。学校での学習内容をあまり話さない子なので、家庭学習をすることで苦手分野を親が把握できた。(東京・2年)
- ・友だちとLINEでビデオ通話しながら一緒に勉強をしている。1人じゃ嫌がってやらなかつたろうに、友だちとなら毎日嫌がらず勉強できている。何時間繋いでいても無料なので助かっている。(愛知・5年)
- ・暗くなる直前に家族で公園へ行きます。普段より運動量が増えたように思います。(大阪・4年)
- ・勉強や運動、お手伝いなどをポイント制にし、ポイントによってゲームやビデオなどが見られるように工夫した結果、自主的に動いてくれています。休校が始まった当初はダラダラして家族が険悪になりましたが、やる事やってたっぷり遊ぶという良い循環が生まれ、うちはうまくいっています。(滋賀・4年)

■ 休校になって良かったこと、

- ・オンライン授業に懐疑的でしたが、やってみたらわりといいなと思いました。生活リズムは整いますし、親もどんなことをどんなふう習っているかわかり安心しました。(神奈川・5年)
- ・授業についていくのに苦労していたので、休校になったことで塾の勉強に集中でき、成績が安定したのは不幸中の幸いです。(埼玉・4年)
- ・普段は学校や塾の宿題があり、寝不足気味だったが、休校になってからはたっぷり睡眠を取れている。(東京・5年)
- ・時間がたっぷりあるので、復習に時間をかけられる。(千葉・2年)
- ・日ごろできなかった料理にチャレンジしたり、興味をもったことについて学習したりすることができました。本を読む時間、親子で過ごす時間が増えました。(滋賀・6年)
- ・この時期にしかできない学びをさせようと、工作やプログラミンをしたりしています。勉強に繋がりそうな動画を見ることで興味が広がり、時間があるからこそ得られたこともあったと思っています。(東京・4年)
- ・今まで見なかった交響楽団やアーティストの動画などを見て、世界が広がりました。個人的には、よかったことの方が多いうように思います。(神奈川・2年)
- ・母は看護師のため休むこともできない。本人もあきらめずがんばり、世の中を気にしながらも流されず、ひたむきにやることも学んだと思う。(岡山・6年)
- ・学校に行けないという状況はめったに経験できることではないので、再開時には学校に行ける喜びを知ってほしい。(神奈川・4年)

・軽度の識字障害を指摘されている我が子の場合、学校では板書を写す行為で多大な労力を使い、正確に写すことができないばかりか、授業の内容を聴くことが疎かになっていることが気がかりでした。休校中、自宅で教科書・ドリルやタブレット使用の通信教育など、手元の資料を指差しながら読み進めることで、読み間違いが激減し、今までと比較にならないほど単元を理解して学習を深められているように感じています。「勉強が出来ない」という劣等感から解放されて、分かること、解けること、調べることが楽しい様子で、次々と意欲的に取り組む姿へと完全に変わりました。今後の学習環境を考える上で大切な気づきを得られたように感じています。(滋賀・4年)

休校について、中高生本人や保護者の自由回答

- ・オンライン授業のみでは子どものモチベーションはもたない印象である。(福岡・保護者)
- ・受験生は毎月10万円ほどの塾費用を捻出しながら生活している。始業式が9月になることに問題はないが、受験が8月まで伸びるのは経済的にもキツイ。興味関心のある子は通信教育や塾で何かしら努力を絶対に行っているため、受験日は伸びても意味がない。(東京・保護者)
- ・とにかく、毎日、張り合いがないようです。新しい制服を着て入学式をしていないから、本人も家族も高校生となった実感が全くわからない。向上心が静止している状態です。(奈良・保護者)
- ・学校からの課題があまりにも少ないので、すぐに終わってしまう。終わった後は自主学習など全くしない。このままでは生活リズムが乱れてしまうし、学習習慣がなくなってしまう。毎日の課題を指示してもらえたら助かる。(大阪・保護者)
- ・厳しい中学受験を乗り越えて、晴れて今年中学1年になりました。なのに、まだまともに学校へ行けていません。これでは何のために辛い受験勉強を頑張ったのか、子どもたちがかわいそうになります。世間では9月入学に関する議論がなされていますが、私は大いに賛成です。今の日本の教育は世界レベルで見て、圧倒的に遅れています。このような緊急事態になってやっとオンライン授業をするようでは、世界の教育に追いつけないのもわかります。もっと抜本的に教育改革を進めて、日本人がどんどん世界に出ていける環境を作るべきだと思います。(広島・保護者)
- ・動画配信なので好きな時に見られる反面、制限がないので気が向いた時にダラダラとやってしまう。面倒くさいと動画は見ずに問題集だけを解いて終わりにする。塾も動画配信をやっているが、それなら月謝を少し安くしてほしい。普段なら質問教室や自習室があるが、いまは動画配信のみの一方的な内容なので、金額に見合っていないと感じる。(東京・保護者)
- ・私の通っている塾は休校が決まってからすぐに対応をして下さり、安心した部分もありましたが、今年は受験生なので、今後、県が高校受験に対してどのように対応していくのかがまだはっきりしていないことが不安です。良かったことは、休校中に確実にパソコンの扱いがうまくなっていることです。(神奈川・中高生本人)
- ・友達に会えなかったり遊びに行けなかったり、変化のない日々ですが、学校があるときよりも趣味の時間が増えていることはうれしいです。(東京・中高生本人)
- ・オンライン授業の際に、サイトの学習の進め方についてわからないことがある。先生に質問がすぐにできない。(神奈川・中高生本人)